

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和7年3月5日
札幌市立篠路中学校

1 本年度の学校経営の基本方針

人間尊重の教育を基盤とした学校経営

2 本年度の学校経営の重点目標

＜人間尊重の教育～『知・徳・体の調和のとれた育ち』～＞ 【子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり】 ○互いのよさや可能性を発揮できる取組（「育てる」取組から「育つ」取組へ） ○互いのよさや可能性を認め合える仲間（相互承認の感度を高める取組） ○安心して過ごすことができる学校空間（同質性から多様性へ）

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
全般	重点目標は本校の実態から見て適切であるか	A	・札幌市学校教育の重点と本校の重点目標は関連付けられており、さらに現在の学校課題とも合致しているため、適切であると考える。 ・生徒の実態把握に努め、見通しをもった計画的、継続的な教育活動を家庭や地域、関係機関等と連携しながら進めることができたので、今後も継続していく。	A	A
	生徒一人一人が生き生きと活気のある生活を送っているか	A	・教師と生徒との信頼関係を一層深めるため、生徒の活動を積極的に認め、褒め、自尊心を高める指導を心掛ける。 ・生徒アンケートの、行事における活動に対し、積極的に取り組んでいるとの回答が多く、充実した学校生活を送っていると考えられる。今後も行事等の在り方を工夫していく。	A	A
学校関係者評価委員による意見		・信頼関係は簡単には深められないが、日々の努力が必要と考えます。 ・生徒一人一人を尊重し、把握し、信頼関係を深める努力と、家庭や地域、関係機関との連携を継続しているとのこと報告を拝見し、最も重要なことに取り組んでいるものと高く評価しています。 ・生徒が生き生きとした学校生活が送れるようにするためには、生徒の活動機会を確保してそのための環境整備をしていくことが大切かと考えます。			
学習	確かな学力を身に付けさせる指導を進めているか	A	・課題探究的な学習を取り入れた授業づくりを行い、各教科で指導方法を工夫しながら授業を構成していた。 ・指導と評価の一体化を目指す。また ICTを活用しての学習を一層進め、学びの質を高める学習指導を行う。	A	A

(様式2)

	学習習慣を身に付けさせる指導を進めているか	A	・生徒アンケートから、「学校ではプリントの配付や学習へのアドバイスをしている」と回答している生徒が多くいるので継続していく。 ・今後は学習会や、より具体的な学習方法の提示などに取り組み、課題探究的な学習の充実を図る。	A	A
学校関係者評価委員による意見		・目標・目的を見つけるのは難しいですが、それらを見つけての学習が一番です。 ・課題探究や ICT は生徒同士が協力し合ったり、個々の経験や能力、興味にも寄り添いながら進めていかなければならず、難しい指導と考えますがご努力がうかがえます。さらなる充実を図ろうとしていることを高く評価します。 ・宿題の必要性を明確にさせるとともに生徒たちの探求心が向上するような取組を行う。例えば段階的なレベルアップ方式のような形など。			
生 活	いじめのない学校作りに具体的に努めているか	B	・いじめ対策委員会を定期的に開催し、SCやSSWから助言をもらいながら、いじめの早期発見、解決に向かった。 ・「学校では、いじめやトラブルが見られない」という項目に対し、生徒アンケートでは肯定的な回答が 48.3%であった。今後も教育相談体制の一層の充実や集団において、いじめを許さない雰囲気づくりを推進していく。	B	B
	学校が進んで挨拶する生徒の育成に努めているか	A	・「学校は進んで挨拶する生徒の育成に努めている」という項目に対し、保護者アンケート結果の肯定的数値が 79.5%であり、生徒の肯定的回答も高い数値となっている。 ・挨拶については、学級への働きかけだけではなく、委員会や部活動など様々な方向から意識付けを図っていく。	A	A
学校関係者評価委員による意見		・挨拶については、朝の通学路での地域住民への声掛けもしてほしいと思います。 ・いじめに関する肯定的回答が半数以下というのは大変に残念です。相談できずに悩んでいる生徒もいます。日々のクラスや生徒個々の様子を、察知力をもって気づいていく大人側の力も大切です。 ・楽しく学べる環境づくりを行い、生徒のいじめに対する理解を深めていくことが必要だと思う。早期発見・適切な対応をとるための手段や方法をマニュアル化しておくことも必要なことだと思う。公的機関の相談窓口の周知を含め、安心して相談できる環境づくりが必要だと思う。保護者や地域との連携を図り、意見交換の機会を設けてはどうか。			
連 携	家庭・地域との連携を深める活動が進められているか	A	・学校だよりや学校ホームページ、すぐーる等で教育活動や必要な情報を積極的に発信し、連携を深めることができた。今後は更に開かれた学校になるよう、様々な場面で学校への要望に耳を傾け、生かしていく。 ・地域に開かれた信頼される学校を目指し、生徒会を中心としたボランティア活動も可能な範囲で広げ、地域とのつながりを継続し、連携を深めていく。	A	A

(様式2)

	学校公開日や参観日は適切に行われているか	A	・保護者アンケートの「学校は授業参観等地域に開かれた学校づくりをしている」という項目に対し、肯定的な回答が 84.3%であった。 ・今後も行事等の公開を積極的に行い、子どもたちの生き生きとした活動の様子を見ていただく。	A	A
学校関係者評価委員 による意見		・授業参観日等は評議員にも知らせてほしいと思います。 ・学校評議員にもすぐーるの登録がされれば、情報の共有などがされてよいと思う。 ・肯定的な回答が多く、先生方のおかげだと思います。			